

3.3 調査対象地域における地域特性の概要

「3.2 地域の概況」の調査結果から要約される対象事業実施区域及びその周辺における地域特性の概要は、表 3.3.1 (1) ~ (3) に示すとおりです。

対象事業実施区域は、昭和 20 年に米軍により接收され、平成 26 年 6 月に返還されました。現在は、図 3.2.6.1 (p. 3-48) に示すとおり対象事業実施区域のほとんどが都市計画区域として、市街化調整区域に指定されています。対象事業実施区域の周辺は、主として住居系の用途地域に指定され、住宅地として利用されています。

対象事業実施区域（公園）は、「深谷通信所跡地利用基本計画」（平成 30 年 2 月）により、災害時の広域的な防災拠点として利用できる等の防災機能や豊かな自然環境、市民活動の拠点となる広場、多様なニーズに応えるスポーツ施設等を備えた、魅力的な公園を整備するものです。対象事業実施区域（墓園）は、四季折々の草花を楽しむことができ、憩いの場として多くの人が訪れ、公園と一体となった緑豊かな空間の形成や防災機能の充実を図るとともに、全市的な課題となっている墓地需要に対応するため、公園型墓園として、芝生型納骨施設や合葬式納骨施設を整備するものです。また、車道や歩道機能に加え、緑豊かな空間の中でジョギング、サイクリング等を楽しめる、健康づくりにも寄与する幅員約 50m の外周道路を整備します。

対象事業実施区域の周辺の主要道路としては、対象事業実施区域を南北に通過する県道 402 号（阿久和鎌倉）があり、続いて県道 403 号（菖蒲沢戸塚）があります。また、対象事業実施区域の北側には県道 22 号（横浜伊勢原）が、西側には環状 4 号線が、南東側には国道 1 号線があります。

表 3.3.1 (1) 地域特性の概要

項目	地域特性の概要
気象の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜地方気象台(横浜市中区山手町)における令和6年の気象の状況は、平均気温18.0°C、平均風速3.5m/s、最多風向は北、降水総量1,819.0mmとなっています。
地形、地質、地盤の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・対象事業実施区域の地形は、大部分に武藏野段丘面群があり、一部に一般斜面、谷底平野、平坦化地、山麓緩斜面、山頂緩斜面が分布しています。 ・対象事業実施区域の地質は、大部分が火山灰・礫及び砂/武藏野ローム層・武藏野礫層で形成されており、一部に埋め立て土が分布しています。 ・対象事業実施区域の土壤は、大部分に厚層多腐植質黒ボク土があり、一部にその他の人工改変低地土があります。また、対象事業実施区域の地盤は、大部分に丘陵地及び台地面があり、一部に軟弱地盤層厚0~5mがあります。
水循環の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・対象事業実施区域の西側には二級河川の境川と和泉川が、東側には二級河川の宇田川があります。 ・調査区域において、湧水は泉区で3地点、戸塚区で2地点あります。
植物、動物の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・対象事業実施区域の植生は、大部分に「ゴルフ場・芝地」及び「畑雜草群落」があり、一部に「クヌギーコナラ群集」があります。対象事業実施区域の潜在自然植生は、大部分に「シラカシ群集・典型亜群集」があり、一部に「シラカシ群集・ケヤキ亜群集」及び「ハンノキ群落」が分布しています。 ・調査区域には「神奈川県レッドデータ生物調査報告書2006」に記載された神奈川県のレッドデータ植物群落（群落複合）や、「神奈川県レッドデータブック2022 植物編」に記載された植物群落、「自然環境保全基礎調査」により選定された「特定植物群落」は存在しません。なお、調査区域周辺で確認されている注目すべき種として、植物では、シダ植物は6種、種子植物は52種が確認されています。動物では、哺乳類は2種、鳥類は67種、両生類は4種、爬虫類は5種、魚類は12種、昆虫類は153種、底生動物は4種が確認されています。
人口、産業の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・泉区、戸塚区ともに、令和2年から人口は減少傾向、世帯数は増加傾向です。 ・泉区、戸塚区ともに事業所数は「卸売業、小売業」、従業者数は「医療、福祉」が最も多くなっています。
土地利用の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・対象事業実施区域の周辺は第1種低層住居専用地域、第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域、第1種住居地域、市街化調整区域に指定されており、対象事業実施区域は市街化調整区域に指定されています。
交通、運輸の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・調査区域には、対象事業実施区域を南北に通過する県道402号（阿久和鎌倉）があり、続いて県道403号（菖蒲沢戸塚）があります。また、対象事業実施区域の北側には県道22号（横浜伊勢原）が、西側には環状4号線が、南東側には国道1号があります。 ・県道22号（横浜伊勢原）及び県道402号（阿久和鎌倉）の立場交差点は、主要渋滞箇所とされています ・バス路線は天台観光、神奈中バスの2社が運行しています。 ・鉄道は相鉄いずみ野線及び市営地下鉄ブルーラインがあります。

表 3.3.1 (2) 地域特性の概要

項目	地域特性の概要	
公共施設等の状況		<ul style="list-style-type: none"> 調査区域において、泉区には保育所・幼稚園・認定こども園が 35 施設、小学校が 8 校、中学校が 4 校、高等学校が 1 校あります。戸塚区には保育所・幼稚園・認定こども園が 17 施設、小学校が 9 校、中学校が 5 校、高等学校が 2 校、専修学校が 1 校、大学が 1 校あります。 調査区域において、主な医療機関は戸塚区に 3 施設、泉区に 1 施設あります。 調査区域において、泉区には区役所が 1 施設、消防署が 2 施設、郵便局が 3 施設あり、戸塚区には警察署が 1 施設、消防署が 2 施設、郵便局が 5 施設あります。 調査区域において、泉区には主な福祉施設等が 34 施設あり、戸塚区には 24 施設あります。
公共施設等の状況		<ul style="list-style-type: none"> 調査区域において、泉区には地区センターやコミュニティハウス等の市民利用施設が 13 施設あり、戸塚区には 6 施設あります。 調査区域において、泉区には主な公園・緑地等が 44 施設あり、戸塚区には 61 施設あります。
文化財等の状況		<ul style="list-style-type: none"> 調査区域に複数の指定・登録文化財等がありますが、対象事業実施区域にはありません。 調査区域に複数の埋蔵文化財包蔵地がありますが、対象事業実施区域にはありません。
公害等の状況	大気汚染	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度から令和 5 年度の経年変化をみると、一般局（泉区和泉中央北及び戸塚区汲沢）については、観測項目のうち光化学オキシダントを除く全ての項目で環境基準に適合しています。自排局（戸塚区戸塚町）については、観測項目全てで環境基準に適合しています。なお、光化学オキシダントは、一般局（泉区和泉中央北及び戸塚区汲沢）における光化学オキシダントの測定結果は、令和元年度から令和 5 年度の全ての年度で環境基準に不適合ですが、これは全国的にも同様の傾向です。
	水質汚濁	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度から令和 5 年度の河川の水質測定結果の経年変化をみると、境川（高鎌橋）において、水素イオン濃度指数、生物化学的酸素要求量、浮遊物質量及び溶存酸素量は、環境基準に適合しています。 令和元年度以降に公表されている測定結果報告書によると、令和元年度、令和 2 年度、令和 3 年度、令和 5 年度において、調査区域で地下水の水質が測定されています。なお、令和元年度から令和 5 年度の測定結果において環境基準に不適合の地点は確認されていません。
	騒音	<ul style="list-style-type: none"> 道路交通騒音について、令和 2 年度をみると、県道 402 号（阿久和鎌倉）及び県道 403 号（菖蒲沢戸塚）において、昼夜ともに環境基準に適合しています。令和 5 年度をみると、国道 1 号において、昼夜ともに環境基準を超過しています。 一般環境騒音について、平成 27 年度をみると、泉区和泉町、泉区中田南二丁目、戸塚区汲沢二丁目及び戸塚区深谷町において、昼夜ともに環境基準値に適合しています。戸塚区戸塚町において、昼夜ともに環境基準値に不適合です。
	振動	<ul style="list-style-type: none"> 調査区域において、令和 7 年 3 月現在、振動の測定地点は設定されていません。

表 3.3.1 (3) 地域特性の概要

項目	地域特性の概要	
公害等の状況	土壤汚染	<ul style="list-style-type: none"> 対象事業実施区域には、「土壤汚染対策法」に基づく要措置区域の指定はありませんが、形質変更時要届出区域が1箇所存在します。なお、平成28年度に対象事業実施区域内において土壤汚染調査が行われており、一部区画において土壤の汚染が確認されています（「資料編 1.2 土壤調査結果」(p. 資 1.2-1~p. 資 1.2-10) 参照)。
	悪臭	<ul style="list-style-type: none"> 調査区域において、「悪臭防止に基づく規制地域及び規制基準」により市街化区域が規制地域に指定されています。ただし、「悪臭防止法施行令」に指定される特定悪臭物質を排出する事業所は対象事業実施区域にはありません。
	地盤沈下	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度の地盤沈下の状況は、泉区で観測した水準点11点のうち10点及び戸塚区で観測した水準点5点のうち全てで10mm未満の沈下が確認されています。
災害の状況	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年の災害による被害は、泉区、戸塚区ともに確認されていません。 調査区域では、元禄型関東地震で震度6弱～6強、東京湾北部地震で震度5弱～6弱、南海トラフ巨大地震で震度5強～6弱の揺れが想定されています。 調査区域には、急傾斜地崩壊危険区域に指定されている区域がありますが、対象事業実施区域には、急傾斜地崩壊危険区域の指定はありません。 調査区域には、土砂災害警戒区域に指定されている区域がありますが、対象事業実施区域には、土砂災害警戒区域の指定はありません。 調査区域には、境川や和泉川、宇田川の周辺に浸水想定区域（洪水）が指定されていますが、対象事業実施区域には、浸水想定区域（洪水）の指定はありません。また、調査区域には、0cm以上2cm未満、2cm以上20cm未満等の浸水想定区域（内水）に指定されている区域があり、対象事業実施区域には、0cm以上2m未満の浸水想定区域（内水）に指定されている区域があります。 調査区域で、地震発生時の液状化危険度は、大部分が「液状化危険度は低い」もしくは「液状化危険度はかなり低い」に指定されており、「液状化危険度は低い」は、河川に沿う形で分布しています。対象事業実施区域は、大部分が「液状化危険度はかなり低い」に指定されており、一部に「液状化危険度は低い」に指定されている区域があります。 	
廃棄物の状況	<ul style="list-style-type: none"> 本市では、令和5年度のごみと資源の総量は約112万トンで、前年度に比べ、約4.0万トン減少（約-3.6%）しています。 	
法令等の状況	<ul style="list-style-type: none"> 公園及び墓園整備事業については「環境基本法」、「横浜市環境の保全及び創造に関する条例」「横浜市生活環境の保全等に関する条例」等の総合的な法令をはじめ、公害防止、自然環境保全、災害防止、地球環境保全、景観、まちづくり等、様々な関連法令等があります。公園及び墓園整備事業実施にあたっては、これらの関連ある法令等を遵守します。 	